

【準備物】

- (1)NB モルタル P15
- (2)水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
- (3)練り混ぜ容器（トロ箱、ペール缶）
- (4)ミキサー（モルタルミキサー、ハンドミキサー）
- (5)水ため容器（ドラム缶、バケツ）
- (6)計量容器（小バケツ）
- (7)鍬

※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

1. 下地処理

下地がコンクリートやモルタルの場合は下地表面のレイタンスと汚れを、ワイヤーブラシ等を用いて完全に除去し、掃除します。

2. 水湿し

下地のコンクリートやモルタルが吸水しなくなるまで十分に水湿しを行ってください。

【練り混ぜ】

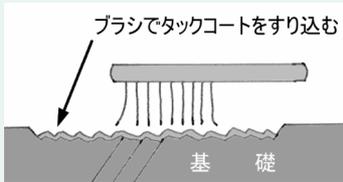
- ・モルタルミキサーで練り混ぜる場合は、本製品をモルタルミキサーに入れ、ミキサーを回転させながら清浄な水を所定量加え、希望する軟らかさになる様に本製品と水の量を調整してむら無く練り混ぜます。
- ・ハンドミキサーで練り混ぜる場合は、練り混ぜ容器に所定量の清浄な水を入れ、本製品の半分を入れて練り混ぜます。よく練り混ぜたら本製品の残りの半分を入れ、さらによく練り混ぜます。

※モルタルは握りしめて形を保つ程度の硬さに練り混ぜてください

【施工】（工法別）

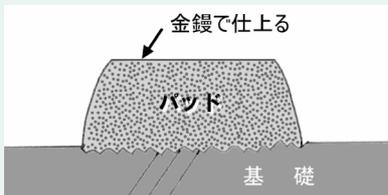
1. タックコート塗り付け

下地コンクリートにタックコートをブラシですり込むように塗り付けます。
タックコートは本製品を柔らかく練ったものを使ってください。



2. 成形

練り混ぜた本製品を鍬などでタンピングしながら所定の形に成形し、
レベルを決めて、天端を金鍬で押さえて仕上げます。
精度を高めて成形する場合は、本製品を硬めに練り、型枠に詰めて叩き締めながら
密に成形します。



【養生】

施工が完了したら乾燥や凍結を防止し、適温・適湿な状態で1週間以上養生します。